

入札監視委員会の審議概要について

北海道運輸局 入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成27年9月30日（水） 北海道運輸局 6階会議室	
委員	委員長 吉見 宏（北海道大学大学院経済学研究科教授） 委員 千葉 寛樹（税理士） 委員 吉岡 直樹（弁護士）	
審議対象期間	平成27年1月1日～平成27年6月30日	
抽出案件	総件数6件	
工事一般競争	0件	
役務・物品一般競争	3件 ・札幌運輸支局他で使用する電気需給契約 ・小荷物運送請負契約 ・レンタカー利用契約（本局、各運輸支局）	
役務・物品随意契約（特命随契）	1件 ・PCB廃棄物処理契約	
役務・物品随意契約（企画競争）	2件 ・北海道における外国人目線による多言語対応現状調査 ・広域観光周遊ルート形成促進に向けた北海道地方基礎調査事業	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	

（参考）

入札監視委員会は、入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性を確保するために、平成13年4月1日から施行された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成12年11月27日法律127号）及び「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」（平成13年2月9日閣議決定）に基づき、北海道運輸局に設置されています。

別紙 委員からの意見・質問それらに対する回答書

意見・質問	回 答
<p>●札幌運輸支局他で使用する電気需給契約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は2者が新規参入してきたということですが、他の運輸局でも応札してきているのでしょうか。 ・落札率が90%であったということですが、昨年度と比べて数値が落ちているのでしょうか。 <p>●小荷物運送請負契約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応札してくれる事業者が多数あると思われませんが、2者応札だったのは何か理由があるのでしょうか。 ・落札率が47%と50%を切っていますが、何か事情があるのでしょうか。 ・予定価格の積算はどのようにしているのでしょうか <p>●レンタカー利用契約（本局、各運輸支局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と同じ会社が落札していると思いますが、単価に変動はありましたか。 	<p>他の運輸局の状況は不明ですが、道内の他官庁ではこの2者が落札しているのが目立ちました。</p> <p>昨年度と比べて落ちています。</p> <p>3者に参考見積りを依頼していましたが、実際に応札してくれたのは2者で、今年度は1者の応札に不備が認められたため、最終的に1者応札となっています。</p> <p>予定価格を積算する際に市場価格の調査のために、今までに応札実績のあった会社に参考となる見積もりを提出してもらっていますが、実際に応札する価格がかなり低いため低い落札率となっています。</p> <p>前年度の実績個数を今年度の「予定個数」として、参考見積もりの単価を掛けて算出しています。</p> <p>昨年と同じ単価です。</p>

意見・質問	回 答
<p>● P C B 廃棄物処理契約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J E S C O は国の全額出資の会社です。ホームページを確認すると P C B 廃棄物を処理できるのは J E S C O の施設のみということですが、本当に競争の入る余地はないのでしょうか。 ・ P C B 廃棄物は毎年出てくるものなのでしょうか <p>● 北海道における外国人目線による多言語対応現状調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 以前にも多言語化調査や言語バリアフリー化調査がいろいろな形でなされていると思います。今回は「外国人目線による」との名称がつけられていますが、今回の調査の目的を教えてください。 ・ 外国人に調査してもらう内容はどのようなもののでしょうか。 ・ 1 者応募のようですが、そのようになった経緯を教えてください。 	<p>P C B 安定器の廃棄処理を行えるのは北海道では J E S C O の施設のみだと経済産業省のホームページにも記載されていますので間違いないと思います。</p> <p>会計法第 29 条の 3 第 4 項に「契約の性質又は目的が競争を許さない場合には随意契約による」とされていますので随意契約を行いました。</p> <p>今回処理したものは J E S C O で処理が開始されるようになるまで保管していたものです。</p> <p>これまでも多言語化の調査を行ってきましたが、全てが整備されているわけではないので、今回は 3 月に新幹線が開業する道南エリアの「江差、松前、木古内」の多言語化状況の調査を行うことを目的にしています。</p> <p>今回は留学生だけでなく大学の先生や通訳案内士の方等、北海道に在住されている方に実際に現地の観光施設やホテルを訪ねてもらい、確認を行ってもらいました。</p> <p>今回の地域は北海道の中でも特に歴史的な観光施設の多い地域であるので、そのような施設の展示内容が外国の方にも理解できるような内容となっているかを特に確認してもらっています。</p> <p>企画競争説明書については 5 者から依頼され配付を行いました。特定事業者 1 者からのみ企画提案書の提出がありました。</p>

意見・質問	回 答
<p>・いままでいくつか調査を行ってきていると思いますが、調査後に実際に改善を実施した例はありますか。</p> <p>・調査については地域の方の要望を踏まえてということはあるですか。</p> <p>・外国人の「北海道」のイメージは漠然としていて、北海道を一日で回れると考えている方もいるようですが、実際には各観光地間の移動に苦労されており、1度の旅行では道内を回りきれないので、それぞれのエリアを順番に回っていく方法はないのでしょうかという相談を受けます。</p> <p>「北海道」という大枠のイメージではなく観光エリアごとに調査事業を進めていく可能性はあるのでしょうか。</p> <p>●広域観光周遊ルート形成促進に向けた北海道地方基礎調査事業</p> <p>・どのような調査を行うのか教えてください。</p>	<p>かなり改善はされてきていると思います。</p> <p>今回も調査をきっかけに松前の旅館で館内表示の修正を行ったとのこと。</p> <p>函館支局の方には機会があれば国の事業で環境整備を行いたいとの話は寄せられていたようです。</p> <p>外国人観光客の移動の起点となる新千歳空港のある道央圏に宿泊客の70%強が集中している状況です。</p> <p>北海道という名前は非常にブランド力があるので、その他の地域にも誘導して行きたいと考えています。</p> <p>今年度はひがし北海道（道東、道北）を周遊させる「広域観光周遊ルート」を認定して、5年をかけて東京～京都～大阪のゴールデンルートに変わる新たなルートが形成できるように取り組みを行っています。</p> <p>ゴールデンルートが非常に過密な状況になっており、宿泊や移動手段がパンク状態にあるため、観光庁がそれに変わる新たなルートを設定するための基礎データを収集した調査です。</p> <p>広域観光周遊ルートは、全国で7ルートが設定され、北海道ではひがし北海道（道東、道北）を周遊するルートが設定されました。</p> <p>1週間程度の期間で一筆書きで旅行できるルートということで設定していますが、700kmを越える移動で、時間、お金はかかりますが、もっとも北海道らしく魅力的なルートということで選定委員から一番の評価を受けました。</p> <p>現在、ルート形成のための調査を行っています。</p>

意見・質問	回 答
<p>・ 7 者もの多数の応募があったのはどのような経緯があったのか教えてください。</p> <p>・ 1 週間ほどで周遊ということですが、それはレンタカーを想定しているのでしょうか。</p> <p>・ そのモデルコースに合わせて将来的に公共交通の整備が進んでいくというイメージでしょうか。</p> <p>・ コースの中ではクレジットカードを使えるようにする等、外国人にとって容易に行動できるような体制を整備する必要があるのではないのでしょうか。また、趣味の関係で訪れる人だけでなく一般旅行客向けの観光地の掘り起こしの調査も行っていただきたいと思いをします。</p> <p>・ 企画競争実施結果によると、選定された会社は全体的に点数が高いようですが、特に業務内容の理解度の点数が高くなっています。業務内容の理解度とはどのような点が評価されたのでしょうか。</p>	<p>調査の実態がアンケート、ヒアリング、各種統計の活用ということで、コンサルタント会社のもっとも得意とする分野であったため多くの応募者があったのではないかと思います。</p> <p>また、10ブロックの運輸局で一斉に公募を行ったこと、今年の前明けに新聞報道がなされたことも応募者が多くなった要因だと思います。</p> <p>鉄道、公共交通機関、レンタカー等いろいろなモードを想定しています。</p> <p>いきなり1週間全部というのは難しいと思われるので、季節ごとテーマごとに2泊3日程度のモデルコースをいくつか設定して発信していきたいと考えています。</p> <p>今回の調査の中で1～2年目に二次交通の調査を行い、どのような二次交通を整備するのが良いのか、地域住民と観光客の双方が利用できるようなものを検討していきたいと考えています。</p> <p>いただいたアドバイスも踏まえて調査を進めていきたいと思いをします。</p> <p>選定業者は過去に請け負った調査内容の活用方法を具体的に記載していたこと、また、同内容の請け負った調査の数が多かったことが評価されたものと思いをします。</p>